



娘へ伝えたいこと
ママ
振袖

町田店 齊藤紀様(お母様)、偲乃様(お嬢様)

祖父母の想いを きものに託して娘へ



お嬢様

三松の見立てと技術が 「ママ振袖」を可能に

「お母さんの振袖を着るよ。」
私の振袖を見た娘の言葉です。うれしい反面、両親にもらったように娘にも新しい振袖を用意してあげたいという想いもありました。また、私と娘ではサイズも違うし、先輩ママから「昔の帯は短いからできる帯結びが限られる」と聞いていたので、私の振袖を着せるのは半ば諦めていました。

ところが、三松さんの「お直し相談会」で見てもらったところ、仕立て直しができると言われました。他店で買い替えを勧められた帯も、「大丈夫です。むしろこの帯がいいですよ」と太鼓判を押されました。娘が一番気に入っていたのが帯だったので娘も私も大喜びでした。

仕立て直しでは、下の娘のときにも再度お直しができるように余分な生地は切らずに残して仕立ててくれました。こうした心遣いがありますね。

普段は多忙な家族も 前撮りを楽しみました



ママ振袖で何よりうれしかったのが、娘と振袖にまつわる思い出話を共有できたことです。「ママの思い入れのあるきものを着ることができるととても喜んでくれました。娘との新たな思い出ができました。」

そんな娘から「前撮りのときに家族写真を撮ろうよ」と提案がありました。普段はみんな忙しい、家族写真を撮る機会が減っていたので、夫も下の娘も大喜び。ロケでの撮影から写真選びまで、家族で楽しむことができました。

お母様やお祖母様の思い入れがある振袖や帯をお嬢様に着ていただく。それが三松の「ママ振袖」です。

ご要望をお聞きして、きもの状態にあったご提案をしています。きものを解いて洗う「洗い張り」で汚れを落と



し、お嬢様のサイズに仕立て直したり、色を染め替えたり。帯や小物を替えるだけでも現代風に生まれ変わります。

町田店 魚住店長

きもの

百年物語

「ママ振袖」

母から娘へ、想いを込めてー。

はじめてまとったときの沸き立つような喜び。

あらためて感じる両親の愛。

振袖を見るたびに蘇る輝かしい思い出。

きものにまつわる想いをつなぐ三松は

振袖にこめられた想いを

時代をこえて母から娘へつなぎます。

「ママ振袖」

お母様の振袖の、第2章が今始まります。

きもの

百年物語

VOL.2

「ママ振袖」

株式会社 三松

本社/160-8334 東京都新宿区西新宿3-2-11 新宿三井ビル2号館14階
<https://www.mimatsu-kimono.jp>

<https://www.rakuten.co.jp/kimonomimatsu>
【肖像権保護の為、無断複写、複製を禁ず】※尚、印刷の都合上、現物と多少色の異なる場合がございますのでご了承ください。
※全ての掲載商品のお取り扱い状況は店舗によって異なります。詳しくは三松・しらの各店舗にお問い合わせください。

●お客さま相談室 フリーアクセス 0120-033330
全国どこからでも無料でおかけになれます。お気軽にご利用ください。(受付時間/平日 10:00~18:00)



<https://www.mimatsu-kimono.jp/>

<https://www.instagram.com/mimatsu.shara.kimono/>

きもの

百年物語

VOL.2
JAN. 2019

「ママ振袖」

浦和店 磯部久美子様(お母様)、さくら様(お嬢様)

羽織るだけではわからない そのきものが持つ魅力

娘へ伝えたいこと
ママ

振袖



お嬢様



ご家族と

「着てみましょう」
の一言があったから
私が成人式を迎えるときに母・祖母と3人で三松さんを訪れ、祖母に買ってもらったのがこの振袖です。娘のさくらが幼い頃に祖母は他界しましたが、母から「さくらの成人式にはこの振袖を着せてね」と言われていました。母の気持ちはわかるものの、本人の好みもあるので無理強いはしたくありません。そのため、成人式用にレンタルを予約しました。

時間が経っても
良いものは良い
娘は「きもの柄や色使いが他の人と被らない」と大喜び。学校の卒業式にもこのきもので参列することにしたほどです。「友だちにも『お母さんのきものを着るなんて素敵ね』と言われるのがうれしい」と言っています。



津田沼店 木山敬子様(お母様)、朋音様(お嬢様)

きものがつなぐ 母娘の想い、家族の笑顔

娘へ伝えたいこと
ママ

振袖



お嬢様

お母様

ママ振袖ご利用で



ご家族と

魅ったきものは
見違える出来栄え
私自身きものを着ることが大好きで、自宅から近い津田沼店に伺う機会も多くあり、店舗からのお知らせで「ママ振袖」のことを知りました。

愛娘の晴れ姿に
家族で感動
娘の晴れ姿を見て、誰よりも喜んだのは夫です。それまでわれ関せずな素振りだった夫が前撮りした写真を食い入るように眺め、目頭を熱くしていました。私としては「してやったり！」な気持ちです。(笑)



と、こんなに見違えるものと私も驚きました。

ママ振袖の 疑問に お答えします！

ご両親から贈られた大切な振袖。疑問を解消して、お嬢様とともに新たな思い出を作りませんか。

Q1 「ママ振袖」って何ですか？

A お母様が成人式にまとった振袖をお嬢様に着ていただくことを三松では「ママ振袖」と呼んでいます。

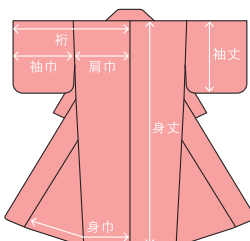
専門店ならではの知識を生かし、コーディネートとお手入れ方法をご提案いたします。



Q2 娘は私より身長が高いけれど着られるかしら？

A お直しの専門家が拝見する

「お直し相談会」がございます。振袖をお持ちになってご来店ください。そのまま直さず着られるか、直す必要があるのか、希望の寸法に近づけられかなど、ご相談をお受けいたします。



Q3 ずいぶん前の振袖だから、会場で浮いてしまわないか心配。

A きものが同じでも、帯や帯揚げ、帯締めといった小物によって雰囲気を大きく変えることができます。

特に色合わせが時代感を反映します。お店で実際に着付けて、今風のコーディネーターやお嬢様の好みを活かしたスタイルをお試ください。



After



Before

Q4 「ママ振袖」の着付けは自分で手配しないといけないの？

A お近くの三松・しゃらへお問い合わせください。

お直しや洗い張り、小物などをご成約いただいたお客様には、成人式当日と前撮りの着付けをお得なプランでご案内いたします。



Q5 「ママ振袖」で気をつけることはありますか？

A 注意が必要なのが草履です。時間の経過によって鼻緒が劣化している場合もあります。

振袖のご相談にいらっしゃる際に、当日使用する小物類も含めて一式お持ちください。確認させていただきます。



「ママ振袖」詳しくはコチラ



「前撮り」詳しくはコチラ